伏見区基本計画の骨子に係る将来像と取組方針（案）

現状・課題

(1)環境

- 環境関連施設との共生が進みつつある（ルネッサンスプランなど）
- 市は環境モデル都市として低炭素社会の実現を目指している
- 地域ぐるみの美化活動やリサイクルなど区民の環境意識が高まっている（大岩山など）

(2) 魅力・個性（自然・歴史等）

- 身近に豊かな自然環境（水辺，里山，農地）がある
- 地域に独自の歴史性がある
- 地域の魅力が十分に知られていない
- 地域資源がアメニティの向上に生かしきれていない

(3)活力（伏見力）

- 市はらくなん進都まちづくり推進プログラムを策定し，活力あふれるまちを目指している。
- 中心市街地活性化に向けて地域密着型の商業振興や地域と共存する観光，らくなん進都との連携などが模索されている
- 伏見特産の農産物（花菜，淀大根，筍等）がある
- 観光資源を連携する観光インフラの不足

(4)地域福祉・コミュニティ

- 自治会の加入率の低下
- まちづくりの担い手が不足
- 地域で高齢者や子どもを見守る取組が進みつつある
- 地域の交流の場が不足
- ニュータウンの高齢化問題，外国籍住民の増加
- 子どもの遊び場が不足

(5)安心安全・利便性

- 久我・羽束師地域の都市基盤整備の遅れ
- 東西の移動が不便
- 駅駐輪場の未整備
- 歩道のバリアフリー化が不十分
- 公共交通網が整っていない
- 大規模災害（地震，水害）の恐れ

将来像

―水と緑と温もりのまち伏見で住みます・働きます・楽しみます―

■目指す伏見の 10 年後

山の緑、川の緑、田の緑に青い**空が澄み**わたり、
ゆるやかな川の**水**、豊かな地下**水が澄み**、
豊かな自然の中で、多様な植物や動物が**棲む**。
水と緑の温もりに包まれ、多様な歴史と文化、生活圏をもつまちに、人々が元気に働き、交流し、**住む**。
暮らしの場と働く場がともにあり、生産，消費，廃棄が地域内で循環し、いろんなことが区内で**済む**。

これからもずっとやさしく生き物を包み込み、美しく、多様な人々の活動を見守る伏見のまちであることを願い、

「伏見ですむ」

10 年後の伏見のまちを表します。

5つの『伏見ですむ』

（１）
「循環型社会の要を担うまち」
伏見ですむ

（２）
「自然と歴史がいきづく魅力を発信するまち」伏見ですむ

（３）
「伏見力を活かし，新しい京都を創造するまち」伏見ですむ

（４）
「地域の福祉力をつむぎ，育むまち」
伏見ですむ

（５）
「安心安全で，人にやさしい便利なまち」
伏見ですむ

「伏見ですむ」～実現に向けたまちづくりの取組方針

①環境にやさしい「伏見ですむ」流ライフスタイルを目指します。
②エココミュニティづくりを進めます。
③ゴミのない美しいまちづくりを進めます。
④水（名水，河川），緑（農地，里山）と共生するまちとして，環境先進区「伏見ですむ」を PR します。

①地域の魅力を知り，育み，伝えます。
②水と緑を活かしたまちづくり（「伏水」環境の保全，水辺環境，農地などの活用）を進めます。
③地域の歴史性を活かした伏見らしいまちづくりを進めます。
④美しい景観の保全，創出を進め、伏見らしいたたずまいのまちを目指します。

①地場産業，商店街，観光が連携した地域密着型の産業を振興します。
②元気な農業づくりにより、地産地消のまちづくりを目指します。
③らくなん進都の創造型産業のまちづくりを進めます。
④伏見の多様な観光資源のネットワーク化を進め，多様な魅力のある観光を目指します。

①地域のつながり，絆を深めます。
②地域の福祉力，教育力を高めます。
③まちづくりの担い手を育てます。
④伏見らしい多文化共生・多世代交流を促進します。
⑤市民活動を促進する環境を整えます。

①安心安全に暮らせる環境づくりを進めます。
②東西方向の交通軸の充実を目指します。
③歩行者にやさしいみちづくりを進めます。
④人と環境にやさしい交通システムの構築を目指します。
⑤防災，減災のまちづくりを進めます。